

1	審議会名	第12回 塩田地域協議会
2	日 時	平成23年2月23日 午後1時30分から午後4時9分まで
3	会 場	上田市塩田公民館小ホール
4	出席者	伊藤委員、大口委員、岡村委員、清水委員、関田委員、竹下委員、中村委員、南雲委員、西澤委員、丸山委員、南委員、峯村委員、宮沢委員、山極委員、若林委員
5	市側出席者	神林塩田地域自治センター長、志摩センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者 1人	記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年3月1日

協 議 事 項 等

1 開 会（神林自治センター長）

2 地域協議会長あいさつ

春めいてきた今日であるが、昨年11月から進めてきた「地域まちづくり方針」の見直しを取りまとめたい。最終原案を提示して答申としたい。地域協議会は、地域のための重要案件を審議する最重要会議であるので出席に万全を配していただきたい。本日の信毎の記事として、新年度からの組織替えにより、自治センターと公民館が一体となって地域を良くするとしているので期待したい。

3 協議

(1) 第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」の見直しについて

塩田地域における「地域まちづくり方針」の見直し原案についての説明（地域自治センター）

（質疑応答）

ア 地域コミュニティ施設の整備

（委員） 広報に力を入れる。～に取組みます。と言っているが誰に言っているのか。誰が誰に約束するのか。

（副会長） 地域として取組むことを明示している。

（委員） 住民が塩田の将来を考えて計画すべきものである。

イ 地域特性を活かした観光の推進

（委員） 目指すことなので原案でよい。

（委員） ハードルが高すぎる。

（委員） 「世界ブランド」については、「国」とか「世界」の文言でなく気持ちの表現でどうか。

（委員） 環境整備から「心やすらぐ」観光地としたほうがよい。

（副会長） 施策として、観光をリーディング産業としているので、世界に通用する表現がよい。

（委員） 世界遺産の表現については、中世の仏教文化が田舎にあったことの不思議を訴えたかった。

ウ 緑農ゾーンの整備推進

（委員） 遊休荒廃農地を減らす、活用する、鳥獣害対策の意味を入れて欲しい。

エ 大学・研究施設と地域社会の交流の促進

（委員） 「率先」はおかしい。

（委員） 「安心して」はどうか。

（委員） 「率先して定住する」はどうか。

オ 計画的の土地利用の推進

特になし

カ 健康で明るい生活を営むまちづくり

(委員) 競技や勝利主義にこだわらない生涯スポーツを目指す。(総合型地域スポーツクラブ)

(委員) 昔の文化の継承を加えたらどうか。

(委員) 塩田にも文化施設はないものか。

(委員) 今はみんな文化的な生活をしているのでなじまない。

キ 安心・安全で快適な生活環境の実現

(委員) 公共交通の充実は難しい。

(2) 各委員会報告

ア 地域振興委員会

住民にとっての安心・安全を求めて今後積極的に動いていきたい。

イ 地域交通委員会

上田バスの塩田線、信州の鎌倉シャトルバスの減便計画についてどうしたらよいものか。対策や住民の足の確保が課題である。別所線電車存続については、地域から負担金を出してもらうことも含めて、市民全体が存続に向けて高揚するよう運動を展開していきたい。

補足説明

地域福祉懇談会において、高齢者問題や高齢者の交通の確保などが問題となった。2月1日に開催した市地域交通活性化委員会終了後上田バスから、減便計画があるので地域へ説明の意向を表明された。地域としてどうするのか考える時期に来ている。

ウ ため池活用委員会

ため池の活用を目的とした活動を、新年度のわがまち魅力アップ応援事業に申請した。新年度の事業は、ため池マップの作製とため池表示板の設置を予定しており、翌年にはウォーキングを計画している。

エ 広報委員会

地域協議会だより№6を、来月16日に発行を予定している。

(3) その他

(委員) 五加には、ため池が3箇所あり農家組合で管理しているが大変であるので、草刈など自治会へ協力を働きかけている。

(委員) 中野は、自治会も加わってやっている。

(会長) 事業を、ため池の重要性や住民で守ることの啓発に結び付けたいものである。

(委員長) 事業実施にあたっては、池の管理者と協議して進めたい。

(委員) ため池の管理は大変であり、関係者に説明して協力してもらったほうがよい。

4 その他

特になし

5 閉会

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、 1 週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。